

桑都日本遺産センター 八王子博物館（はちはく） 企画展「山車と宮大工」開催

今年、3年ぶりに開催される八王子まつり。八王子市指定有形文化財（工芸品）12台を含む19台の山車が巡行する関東屈指の山車祭りといわれています。動く文化財である山車には破損や傷みがつきものです。その修理やメンテナンスには多くの匠たちがかかわり、文化財を次世代に繋いでいます。

今回開催する企画展「山車と宮大工」では、山車の建造から修理まで、山車の継承に大きな役割を果たしてきた宮大工に焦点をあてました。八王子の山車の修理を多く手掛ける宮大工が実際に使用する道具や、加工した部材の展示を行い、宮大工の技術や山車の修理方法について紹介します。



- 1 会期 7月1日（金）～18日（祝）
- 2 会場 桑都日本遺産センター 八王子博物館（愛称・はちはく）
- 3 主な展示資料

- ・八幡町旧1丁目の山車人形「神武天皇」の衣装（明治時代） 初公開資料
- ・八木町山車彫刻（大正時代） 初公開資料
- ・宮大工の使う道具
 - 木の成型に使用する様々なかな鉋
 - 彫刻に使う彫刻刀・のみ鑿
 - 宮大工特有の道具であるやりがんな槍鉋・ちょうな手斧
- ・釘を使わない木材の接合技術であるきぐみ木組の模型 など



はちはく HP

<問い合わせ>

生涯学習スポーツ部文化財課長 叶 電話042-620-7265